

# JB新聞

10月2日(土)  
2021年(令和3年)  
発行所: 横浜市瀬谷区阿久和南 4-12-6

**Cafe Jack in the Box**  
☎ 045-442-5557  
じゃんぼ洗車センター  
☎ 045-812-6400  
RAVEN株式会社  
☎ 045-443-7355  
<https://cafejb.com>

Jack in the Box  
ドリアは日本で生まれた創作料理



ドリアは、イタリア料理だと思っている人も多いのではないだろうか。とある有名イタリアンファミリーストラでもミラノ風ドリアなんてものがあるし、その見た目もなんとなくヨーロッパの料理っぽい。しかし、ドリアを考案したのはナポリタンの回でも出てきた横浜の老舗ホテルニューグランドの料理長なのだ。

が始まりだという。ではドリアの名前の由来はというと、イタリアの貴族アンドレアドーリア提督の名前を由来にしていると言われているが、その理由は明らかにはない。ドリアのソースに決まりはなく、ミートソースをかければミートドリア、カレーをかければカレードリア、その他にもシーフードドリアやチキンドリアなど、様々だ。地域やお店によっては「ドリア」ではなく「ライスグラタン」と呼ぶこともある。年配の方などはこの方が馴染みがあるのではないだろうか。Cafe Jack in the Box ではミートドリア3種類を提供している。(フーマルのミートドリアの他に、揚げナス、ハンバーグ)モツァレラチーズとシュレットチーズの2種類とチーズを使い、中には卵黄が隠れている。期間限定なので寒くなるこの時期、アツアツのドリアをぜひ召し上がっていただきたい。(店長)



2021 ONAIR 10/2 FM YAMATO 77.7MHz 佐藤太紀 FIM 鈴鹿8耐

10月2日放送のMotorcycle Friendship「バイクの輪」のゲストは、伊藤和輝選手からのご紹介で、佐藤太紀選手の登場です。佐藤選手は愛知県清須市在住。現在29歳。バイク歴は16歳から14年。現在AirPlantsで代表取締役を務め、初心者の方から上級者まで有益なトレーニングになる「Motorcycle Basic Lesson」を開催中。バイクを通じて皆さまの思い出をデザインする活動を行なっている。16歳でバイクを始め、

SBSJ(鈴鹿サーキットレーシングスクール)に在籍。在籍中はCREEDERにてダートトラックで練習を行っていた。2011・2012年鈴鹿サーキットロードレースST600に、2013年〜2016年までは全日本ロードレース選手権JRC2クラスに参戦。またFIM鈴鹿8時間耐久レースにも出場。一度引退という形をとり、2020年には「AirPlant's」を起業する。

2020・2021年は鈴鹿8時間耐久レースへ復帰するが、新型コロナウイルスの影響で2年とも開催中止となってしまった。愛車のCBR600RR ST600仕様は、手島雄一選手が2009年全日本ST600にてチャンピオンを獲得した車両で、自身は2012年に鈴鹿選手権ナショナルST600に参戦。年間ランキン



ング2位を獲得し、国際ライセンスに昇格したことにより全日本ロードレース選手権への参戦の足掛かりになったマシンである。主催するライディングスクールでは、このマシンを通じて学んだことをサーキット走行を楽しむ方々に安全で速くなる走りの提案を行っている。

AirPlant's主催の「思い出をデザインする」活動「Motorcycle Basic Lesson」は、11月20・21日に開催予定。佐藤選手の今後のレース活動にも期待だ。

くらしの今日も ツーリング日和  
毎週土曜 20時放送!  
WGPチャンピオン、今週末で200人以上がゲスト出演! マスター、芸人など、今週末放送! QRコードで同時放送! アプリ不要!



エンジンオイルと同様ブレーキフルードも消耗品の一つであり定期的な交換が必要である。自動車・バイクには、油圧式ブレーキが採用されており、ブレーキを掛けるとブレーキキャリパー内のピストンが押し出さ

れ、ブレーキパッドがブレーキローターに押し付けられてスチールドロを落としたり停止したりするための制動力が得られる。ブレーキキャリパー内のピストンを押し出す作動油が「ブレーキフルード」である。

ブレーキフルードは吸湿性があり、長期間使用していると空気中の湿気を液内に取り込んで性能が低下する。湿気を吸うと沸点が下がるため、ブレーキから沸点を超えるほどの熱が伝わったときに沸騰して気泡ができ、圧力の伝達を阻害する。これは「ベーパーロック」と呼ばれる現象で、こうなるとブレーキペダルを踏んでも正確に力が伝わらず、ブレーキが効かなくなってしまう。劣化したブレーキフルードを使い続けると、ベーパーロック現象を引き起こしやすくなり、結果ブレーキが効かず事故につながる危険性が高くなる。

交換時期は明確に決められておらず、車検整備時2年に1回の交換が一般的だ。新しいブレーキフルードは薄い黄色やあめ色だが、空気に触れて酸化が進むと茶色や黒色に変化する。変化に気づいたら早めの交換を。(工場長)

**オイル交換・車検・車両整備は、カフェにて受付中!**